

大田区

青少年対策地区委員会だより

令和5年度（第80号）

大田区 地域力推進課

## はじめに

大田区青少年対策地区委員会は、特別出張所を単位とし、全 18 地区に設けられており、地域の青少年健全育成を目的として様々な活動を行っています。

主な役割は、①育成活動、②環境浄化活動（青少年に悪影響を与える DVD ソフトなどの販売自粛を関係業者に要請するなどの活動）、③関係団体との連絡調整・情報交換などです。

この「青少年対策地区委員会だより」は、活動のふり返りに使用していただくとともに、多くの方に地域で行われている青少年健全育成活動を知っていただくために作成しています。

## 『地域力』とは・・・

### 大田区における「地域力」の基本的な考え方

- 1 地域は、そこに住み、働き、学ぶなど、その地域に関わる区民一人ひとりによって構成され、支えられています。また、地域社会においては、人やまちへの思いやりの心と規範意識を持ち、社会的なルールを尊重することが重要です。
- 2 暮らしやすいまちの実現には、区民一人ひとりの力が必要であり、この力が地域力の源です。そして、一人ひとりの力を結びつけることなどで地域力はさらに強くなります。
- 3 自治会・町会、事業者、団体・NPO、区など、地域を構成する様々な主体が連携・協働することによって、地域力はさらに高まります。
- 4 歴史や文化、自然環境、まちなみ、産業など、地域の特徴を活かすことで、魅力ある地域力を創造することができます。
- 5 防犯・防災、福祉、子育て、教育、環境、産業、国際交流、まちの魅力づくりなど、多様化する地域課題を解決するためには、地域力が大切です。

## 令和5年度青少年対策地区委員会会長会会長 あいさつ

### ～ぬくもりのある大田区で こどもたちの社会性を育む～

令和5年度はコロナ禍における制限が緩やかになったところから始まりました。4年ぶりの開催を目指して準備を進めていた子どもガーデンパーティーは、大変残念ながら、天候不良により中止となってしまいましたが、小学生を対象としたリーダー講習会をはじめ、各地区において企画・運営をされた青少年対策地区委員会の行事は、ようやくコロナ禍以前のように活動することができました。地域行事において、こどもたちの元気な声が戻ってきたことを大変うれしく思います。

各地区の委員の皆様には、日頃より青少年対策地区委員会の活動にご理解、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年の夏は全国的にとても暑くなりました。この時期の活動を実施するにあたっては熱中症対策が必須であり、各地区においては、こどもたちが熱中症にならないための対策にご配慮いただいたことと思います。また、年明け早々には能登半島で震度7の地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。地震や集中豪雨などの自然災害は、いつ起こるかわかりません。青少年対策地区委員会の活動中に起こることも想定し、備える必要があることを改めて感じました。

こどもたちが安全で安心して様々な経験ができるよう、私たち青少年対策地区委員会は、今後も試行錯誤を重ねながら活動を進めていきたいと考えます。そして、こどもたちが学校以外の場所で、楽しみをもって、生き生きと成長できる企画・運営に取り組むことが、こどもたちの自己肯定感、自己有用感を高めることにつながり、社会性を育むことになる信じて、活動を続けていきます。これからも地域、学校、行政の皆様の一層のご協力をよろしくお願いいたします。



大田区青少年対策地区委員会会長会 会長 石垣 晴子

# もくじ

## 1 青少年支援活動報告

(1) 青少年対策地区委員会年間活動 .....	1
(2) リーダー講習会 .....	39
①小学生対象	
②中学・高校生対象	
③成人対象	
(3) 青少年表彰式 .....	45

## 2 その他の事業報告

(1) 青少年問題協議会 .....	51
(2) 青少年対策地区委員研修 .....	53
(3) 青少年を取り巻く環境の整備 .....	55

# **1 青少年支援活動報告**

## **(1) 青少年対策地区委員会年間活動**

## 青少年対策大森東地区委員会

### ■会長挨拶

現在、大森東ではジュニアリーダークラブ員の確保が厳しい状態だと言えます。一昨年の受講生たちはバスケットボール・バレーボール等の運動部に入部し頑張っています。昨年の受講生は、5年生4人で令和6年度もリーダーにはなれません。コロナ禍での活動休止が大きく影響したわけですが、子どもたちの笑顔のために委員一同頑張っていくのはもちろんですが、中学生・高校生への活動を模索していくことが今年・今後の活動の重点項目になると思います。

「子どもたちの笑顔」のために、新しい委員さんにも参加していただき、健全育成を目指したいと思います。



青少年対策大森東地区委員会

会長 伊藤 音嗣

### ■目標

#### 大森東地区青少対活動の基本目標

- 一 人の痛みがわかる思いやりのある子を育てる
- 一 自分の考えをしっかりと持ち、善悪の判断ができる子を育てる
- 一 健康で夢や希望に向かって進める子を育てる
- 一 明るく元気で素直な自分の行動に責任の持てる子を育てる
- 一 団体活動に積極的に参加できる子を育てる

以上を目標に青少年健全育成活動を進めて参ります

### ■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
5月20日(土)	リーダー講習会激励会	16人
6月29日(木)	感謝状贈呈式・新旧委員懇親会	32人
7月1日(土)	広報紙「青少対大森東だより」発行	4,500部
7月2日(日)	リーダー講習会 大森東地区担当回	140人
9月10日(日)、 16日(土)、17日(日)	大森四地区少年野球大会	266人
9月23日(土)	秋のバスハイク	34人
10月22日(日)	いつつのわふれあい祭り ブース出店	468人
10月26日(木)	地域懇談会	24人
11月4日(土)、5日(日)	OTA ふれあいフェスタ ブース出店	1,500人
11月20日(月)	子ども・若者育成支援(販売自粛要請活動)	6人
12月3日(日)	リーダー講習会反省会・お楽しみ会	11人
1月15日(月)	大森第一中学校 朝礼での青少対PR活動	約300人
3月16日(土)	春バスハイク	68人
奇数月	役員定例会	各回30人程度

## ■振り返り

### 【秋のバスハイク】

児童 22 名と青少対委員等 12 名の総勢 34 名で、埼玉県の「埼玉県立自然の博物館」、「秩父ミュージアパーク」、「荒幡農園のいも掘り」に行きました。初めていも掘りをする児童も多く、いもが土の中からでてきたときには、大きな歓声が上がりました。また、「いもがどういう風に土の中に埋まっているのか知れてよかった」と言っている児童もおりました。実施後、子どもたちにとってアンケートで「今日のバスハイクは楽しかったですか?」という質問に対して、全員が楽しかったと回答してくれました。



### 【いつつのわふれあい祭り】

4 年ぶりに開催された大森東地区最大のイベントである「いつつのわふれあい祭り」にブース参加しました。計 5 種類のデザインの中から、こどもに好きなデザインを選び、色付けをしてもらい、スタッフが機械によって仕上げをすると、子どもたちは、缶バッジの出来上がりを見て、「わあー!!」と驚き喜ぶ姿がありました。当日は天気にも恵まれ、青少対ブースは大盛況で、468 人が来訪してくれました。



### 【地域懇談会】

「学校と地域」をテーマに、大森第一中学校の渡邊映二校長先生から、東京都・大田区の施策を踏まえた学校教育の方針、大森第一中学校の教育の様子についてご講演いただきました。

その後、各グループに分かれて、学校と地域の関わり方についてグループワークをしました。

参加者からは、「今の中学生の現状を知ることができ、参加してよかった」「子供達が健やかに成長していくために、地域との交流が大切だと思った」という感想が挙げられました。



## 青少年対策大森西地区委員会

### ■会長挨拶

令和5年度から会長を務めさせて頂くことになりました、田中清一と申します。よろしくお願いいたします。

感染予防のため、他者との距離を置くようになり、失われていた子どもたちの笑顔が、徐々に戻って参りました。

笑顔は“心身共に健やかであることの表れ”。この笑顔を大切に、繋ぎ・広めていくことが、青少年健全育成の原点と捉え、取り組んでいきたいと存じます。

皆さまのご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。



青少年対策大森西地区委員会

会長 田中 清一

### ■目標

「 たくさんの 笑顔あふれる 大森西 」

### ■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
5月21日(日)	子ども体験ツアー（潮干狩り）	31人
7月23日(日)	大森地域リーダー講習会 大森西担当回	約80人
7月、8月	管内小学校 サマースクール（パラコード編み）	25人
10月8日(日)	小学生の交流会（ピザ作り、モルック体験）	5人
10月29日(日)	秋のバスハイク（みかん狩り）	43人
11月4日(土) 11月5日(日)	OTAふれあいフェスタ 手作りコーナー出展 （アルミ缶プレート、紙コプター）	1236人
11月8日(水)	委員研修会（応急救護）	31人
12月3日(日)	リーダー講習会終了後 参加者との懇談会	13人
12月23日(土)	ジュニアリーダークラブ クリスマス会	10人
3月10日(日)	委員日帰り研修（施設見学：川越・鉄道博物館）	22人
	定例会 毎月（8月、1月は除く）	
	ジュニアリーダークラブ 定例会	
4月、10月	広報誌発行	



## ■振り返り



### ◎子ども体験ツアー 令和5年5月21日

管内の小学生、ジュニアリーダーと千葉県にある富津海岸に行ってきました。当日は天候が良く、潮干狩り日和でした。

参加した児童たちは大きい貝を沢山採ろうと潮干狩りに夢中になっておりました。ジュニアリーダーと協力し、貝を多く採ることができるポイントを見つけながら潮干狩りを楽しんでいました。中には網いっぱい貝を入れている児童がおり、本人は大変喜んでおりました。

### ◎小学生の交流会 令和5年10月8日

管内の小学生、ジュニアリーダーと平和島公園キャンプ場でピザ作りとモルック体験をしました。ピザ作りでは、生地から自分たちで作ったオリジナルのピザを食べました。モルックは体も頭も使うスポーツで、よく考えながらモルックを楽しみました。



### ◎秋のバスハイク 令和5年10月29日

神奈川県にある、みかん園とソレイユの丘に行ってきました。採ったみかんの中には甘いみかんもあれば酸味が強いみかんもあるようで、児童たちは様々な味を楽しんでいる様子でした。みかん狩りを終えソレイユの丘でお弁当を食べた後、班ごとに分かれ遊具や草そりをして楽しみました。

### ◎OTAふれあいフェスタ 令和5年11月4、5日

2日間に渡りアルミ缶プレートと紙コプターをコーナー出展しました。多くの子どもたちに参加していただき大変賑わいました。アルミ缶プレートを作成していた参加者は自分の名前や好きなものを表現しており、世界に一つだけのオリジナルアルミ缶プレートを作成しておりました。



青少対の活動の中には、地域のお子様を預かり、貸し切りバスなどで区外に出かける機会がございます。大森西青少対では、出先での被災や過度の交通渋滞等を想定し、非常食(クラッカー等)、水、携帯トイレを備えて持参することを始めました。

発災時の命を守る行動や備蓄など、防災に関することについて、子どもたちに学ぶ機会を提供する活動も考えていかなければと感じています。

## 青少年対策入新井地区委員会

### ■会長挨拶

令和5年度、青少年対策入新井委員会は68名でスタートしました。年度初めの行事“ガーデンパーティー”は残念ながら雨で中止となってしまいましたが、他の行事は予定通りに開催されました。10月に開催された“デイキャンプ”は、大田区で活動されている外国の方々（国際都市おた大使）にご参加を頂きました。中国、ベトナム、タイ、スウェーデンの4か国の方々が参加し、子ども向けの遊びもご紹介下さいました。参加した子ども達には、国際交流の場として貴重な体験になったと感じました。このような交流の機会を続けられたらと思っています。

今後は更に新しい企画も取り入れる等、内容を充実させ、次の世代にも繋がるような活動に力を入れていきたいと考えております。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。



青少年対策入新井地区委員会  
会長 波岡 邦典

### ■目標

入新井の結束力で、明るく、楽しく、活気ある地域作り



### ■年間活動報告

月 日	活動名	参加人数
5月7日	農業生産体験活動（田植え）	74名
5月21日	リーダー講習会 受講生及び保護者説明会	40名
5月25日	第1回理事会 及び 総会	理事会 30名 総 会 46名
6月4日～12月3日	大森地域リーダー講習会	188名
6月8日	第1回PTAとの懇談会	32名
7月19日	第73回“社会を明るくする運動”入新井地区集会	90名
7月22日・23日	入新井盆踊り大会 （ポップコーン作りで協力）	840名
9月10日	農業生産体験活動（稲刈り）	74名
9月10日・16日・17日	第46回大森四地区少年野球大会	計14チーム 参加
10月11日	入新井地区デイキャンプ実行委員会	32名
10月22日	入新井地区デイキャンプ	87名
10月26日	OTAふれあいフェスタ打合せ会	63名
11月4日・5日	OTAふれあいフェスタ2023 入新井青少対コーナー	6,580名
12月3日	入新井地区リーダーとの交流会	32名
12月8日	第2回理事会	22名

1月17日	広報誌編集会議	9名
2月14日	第2回PTAとの懇談会	29名
3月8日	第3回理事会	25名
3月8日	広報誌「入新井青少対だより」第36号発行	4300部発行
3月24日	バスハイク	123名

## ■振り返り

### ◎農業生産体験活動 田植え 令和5年5月7日(日)／稲刈り 9月10日(日)

千葉県南房総市大井の「いきいき体験共和国」にて、田植え体験と稲刈り体験を実施しました。小学校3校の児童、PTA、大森警察署、青少対委員等で参加しました。実際に農作業を体験して普段食べているお米ができる過程を学ぶことで、「食」のありがたみを感じることができました。また参加された大森警察署の方から、特殊詐欺などに注意するよう、ありがたい特別講義も行われ、子ども達も改めて身を引き締めているようでした。



### ◎第73回“社会を明るくする運動”入新井地区集会 令和5年7月19日(水)



入新井集会室にて、社会を明るくする運動の入新井地区集会が開催されました。今年度は社明運動の説明・地域活動事例の紹介の他、メインイベントとして親子間のコミュニケーションのアプローチに関する講演とワークショップが行われました。各グループで出た意見を発表してもらう度に、深い関心の頷きや、「わかる、わかる」と言った笑い声も上がり、会場が明るくあたたかい空気に包まれ、大盛況のうちに幕を閉じました。

### ◎入新井地区デイキャンプ 令和5年10月22日(日)

平和島公園キャンプ場にて、デイキャンプを実施しました。小学校4校の児童の他、今回はゲストとして、国際都市おおた大使が5名参加してくれました。国籍はスウェーデン1名、中国2名、タイ1名、ベトナム1名と国際色豊かなイベントになりました。午前中は大使と一緒にカレーを作って交流を図り、午後からはペットボトルロケットを飛ばして飛距離を競ったり、外国の遊びを体験しました。子ども達も様々な国籍の外国人と交流することで、より外国人や異文化を身近に感じる事ができたようでした。



## ■次年度に向けて

PTAの皆さま方との意見交換の場を多く設定し、様々な世代の方々からの活発な意見やアイデアを参考にし、より充実した活動内容になるよう取り組みたいと考えています。

## 青少年対策馬込地区委員会

### ■ 会長挨拶

青少年対策馬込地区委員会は、自治会・町会・学校・PTA・地域の皆様と連携し地域に根付いた子どもたちを育成することを目標に活動しております。

今年度は、新型コロナウイルスが五類に移行されたこともあり、各行事につきましては、感染対策を行いながら、皆で工夫してコロナ禍以前のように開催していくことができました。

また、夏の暑さ対策にも気を張りました。各種行事に参加した子どもたちは笑顔があふれ、委員さんも喜んでおりました。

日頃からご協力を頂いております自治会・町会・学校・PTA・地域の皆様に深く感謝申し上げます。これからも地域に密着して、子どもたちの笑顔あふれる活動を展開してまいります。

ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



青少年対策馬込地区委員会  
会長 鈴木 正

### ■ 目標

- ・ 地域の子どもたちの安心安全
- ・ 地域に根差した青少年の育成

### ■ 年間活動報告

実施月日	活動名	参加人数
4月27日	自治会・町会長との合同研修会	52名
5月26日	総会	45名
7月10日	広報誌「きずな」第49号発刊	
7月11日	新旧委員交歓会	34名
8月20日	第43回少年野球大会	287名
8月27日	第49回ソフトボール大会	120名
10月21日	みらい学園中等部見学ツアー	18名
10月29日	第29回小学生ドッジボール大会	393名
11月12日	大森地域リーダー講習会（馬込担当回）	82名
11月23日	わがまちまごめふるさとウォーク	76名
1月11日	新年懇親会	29名
2月11日	馬込青少対委員研修	17名
2月18日	馬込地区5道場剣道大会	125名
通年	馬込ジュニアリーダークラブ	
通年	馬込青少対剣道部	
通年	小学校別行事（PTA主催）	

## ■ 振り返り

馬込青少対では、小学生を対象とした行事を開催する「少年部」、中学生以上を対象とした行事を開催する「青年部」、中学生以上のリーダーを育成する活動をする「ジュニアリーダー部」に別れて様々な活動を行っております。今年開催した代表的な行事を紹介いたします。

### ◎ 少年部：第29回小学生ドッジボール大会 10月29日（日）

馬込地区の4つの小学校（4～6年生）を対象に、241名の児童が参加し、ドッジボール大会を馬込中学校で開催しました。

ドッジボールは子どもたちにとっては大変親しみあるスポーツでもあり、大会に向けて先生や保護者の協力のもと個々の練習のほか、ルールやチームワークを学ぶ良い機会となっています。そのため、個々の力だけでなくチームワークも完成された良いチームが多くみられました。また、ひとつの試合が終わるごとに、歓喜の声や悔しさに涙する姿が見られ、子どもたちの大会への想いが伝わってきました。

大会運営ではPTAの皆様をはじめ、桜台高校や立正高校の生徒さんにもボランティアとして支えていただき、無事に開催することができました。



### ◎ 青年部：みらい学園中等部見学ツアー 10月21日（土）



今年度の青年部では、小・中学生の保護者を対象に、みらい学園中等部への見学ツアーを実施しました。みらい学園は御園中学校が学びの多様化学校（旧不登校特例校）の指定を受けて分教室とし開校した学校です。

見学ツアーでは、不登校の実情や取り組みについて学んだり、実際の授業風景や校内の様子を見学したりしました。

馬込青少対としては初めての取り組みでしたが、質問や感想も多く飛び交い、有意義な時間となったという声を多く聞くことができました。

### ◎ ジュニアリーダー部：お楽しみ会 12月17日（日）

リーダー講習会の受講生を招待して、ジュニアリーダーを中心に「お楽しみ会」を開きました。みんなでレクリエーションをしたり、青少対委員の手作りのお昼ご飯を一緒に食べたり、最後はビンゴ大会をするなど、非常に盛り上がりました。参加した子ども達の中から、来年は馬込のジュニアリーダーとして活動していくことを決めた子もおり、楽しみながらも未来のリーダー育成につながる活動を行うことができました。



### ◎ 特別行事：わがまちまごめふるさとウォーク 11月23日（木・祝）



毎年行っている特別行事として、「わたしたちのまち再発見！！」のテーマのもと、家族や友達同士で馬込地区の様々な名所をウォークラリー形式で巡る「わがまちまごめふるさとウォーク」を開催しました。

普段から慣れ親しんだ馬込での新たな発見の数々に驚きの声がある一方で、真剣に学びながらウォークラリーに取り組む姿がいたるところで見られ、参加者にとって発見の多い一日となりました。

## 青少年対策池上地区委員会

### ■会長挨拶

青少年対策池上地区委員会は、地域の11の自治会・町会、小学校3校、中学校2校、各学校のPTA、民生児童委員、保護司の各団体から選出された委員と、有識者、青少年委員、スポーツ推進委員などで構成されています。

新型コロナウイルスの位置づけが5類へと移行したのに伴い、今年度はいろいろな行事を再開することができました。4年ぶりの開催となる行事もあり、委員も戸惑いつつも、参加者の皆様の笑顔に喜びを感じました。今後も地域の皆様のご理解ご支援を賜り発展できればと思っております。



青少年対策池上地区委員会

会長 秋庭 寿栄

### ■目標

## 「地域で育む、地域の宝」

### ■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
5月11日	ジュニア・リーダー・クラブ総会	13人
5月23日	理事会	13人
6月2日	理事会・総会	23人
8月27日	参加行事／池上まつり	10人
9月10日	ジュニア・リーダー・クラブ研修会	11人
9月11、14日	池上プラネタリウム教室	278人
9月30日	後援事業／池小フェスタ	409人
10月15日	池上スポーツまつり	160人
11月3日	地域ふれあいコンサート	723人
11月25日	参加行事／いけいけハートフルフェスタ	7人
12月15日	理事会	13人
12月17日	ジュニア・リーダー・クラブ交流会	26人
1月19日	新年懇談会	36人
2月20日	委員研修会	26人
3月	広報誌「青少対いけがみ」発行	6,000部
3月24日	ジュニア・リーダー・クラブ バスハイク	31人

## ■振り返り

### ◎池上プラネタリウム教室 令和5年9月11日、14日 場所 池上会館

4年ぶりに、池上地区内全小学校の4年生を対象にプラネタリウム教室を開催しました。

子どもたちは、自分の背丈の何倍もある大きなエアドームに歓声を上げていました。

理科の授業で星を勉強している4年生にとって、星の動きや星座への理解をより深められる良い機会になりました。



### ◎池上スポーツまつり 令和5年10月15日(日) 場所 池上文化センター



区民スポーツまつりの一環として、今年度はボッチャ交流会を開催しました。悪天候の中、小学生や自治会町会、ジュニアリーダーなど160名が集まりました。

年齢などにかかわらず誰でも参加できるボッチャというスポーツを通じて、様々な年代の方々が交流し、地域の絆を深めることができました。

### ◎地域ふれあいコンサート 令和5年11月3日(金・祝) 場所 池上会館

音楽を通して地域の方々の交流を図りました。4年ぶりの開催となりましたが、保育園、小中学校、福祉園、地域の方々など10団体に出演していただくことができました。多くの方にお越しいただき、最後には来場者も一緒に「サザエさん」を合唱し、楽しいひと時を過ごすことができました。



### ◎ジュニアリーダークラブ交流会 令和5年12月17日(日) 場所 池上会館



池上ジュニア・リーダー・クラブ主催の交流会を開催しました。交流会は企画から、準備、当日の運営まですべてジュニア・リーダーが行います。当日は、リーダー講習会に参加した小学生と一緒に、料理やゲーム、プレゼント交換などをして楽しみました。

## 青少年対策新井宿地区委員会

### ■会長挨拶

新井宿地区は8つの自治会・町会があり、とても家族的な雰囲気を持ち、何かとまとまりやすいところです。

その中で新井宿青少対は、「青少年の健全育成」を目的に、地域力推進の一翼を担っております。年間を通して数々のふれあいや様々な体験の中で、子どもたちが心と体を健全で豊かにしてくれることを願っています。

とりわけ、子どもたちに大人気の事業「農業体験」、「地区スポーツの集い」には力を注いでいます。

子どもたちが楽しみながら健やかに成長する支援を、今後も精力的に行っていきたいと思っております。



青少年対策新井宿地区委員会

会長 和田 芳明

### ■目標

新井宿の地域に子どもたちの元気な声が飛び交う、それをとりまく大人たちの温かい眼差しが子どもを守る

### ■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4月18日	理事会〈新井宿特別出張所〉	15人
5月16日	総会〈新井宿特別出張所〉	34人
5月14日 9月3日	農業体験学習 田植え、稲刈り〈千葉県南房総市〉	48人
9月1日	広報誌発行	—
10月22日	ソフトボール教室〈大森第三中学校〉	97人
11月16日	環境浄化運動〈新井宿管内〉	7人
11月19日	ドッジボール大会〈大森第三中学校〉	161人
令和6年 1月21日	落語を聞く会〈大田文化の森〉	36人
令和6年 2月8日	地区集会〈新井宿特別出張所〉	46人
令和6年 2月18日	委員研修〈横浜方面〉	19人
奇数月	定例会〈新井宿特別出張所〉	58人



■振り返り

◎農業体験学習 田植え5月14日(日)・稲刈り9月3日(日)

〈千葉県南房総市〉

千葉県南房総市にて農業体験学習を実施しました。新井宿地区内3つの小学校児童、青少対委員ら総勢48名が参加しました

5月の田植えでは、田んぼいっぱい苗を植えました。「普段はできない貴重な体験ができた」と喜んでもらうことができました。

9月には慣れない鎌を使いながら、大きく実った稲の刈り取りを行いました。



◎落語を聞く会 令和6年1月21日(日) 〈大田文化の森〉

子どもたちに日本の古典芸能を体験してもらうことを目的に、「落語を聞く会」を実施しました。当日は、児童・保護者ら36名の参加がありました。当日は、新井宿地区在住である、落語家の方に高座を行っていただきました。落語を聞くだけでなく、落語に関する様々な知識を教えていただくことができました。

質疑応答では、参加した子どもや保護者からの様々な質問を通して、楽しく交流をすることができ、身近にわかりやすく落語について学び、日本の古典芸能を体験する貴重な機会となりました。



## 青少年対策嶺町地区委員会

### ■会長挨拶

令和5年度は、新型コロナが5類に移行したことを受け、皆様のご協力の下、今まで行っていた木工教室・子ども夏まつり・デイキャンプの3つの事業に加えて委員研修会等すべて実施することができました。子どもたちの成長へのお手伝いのできたことをうれしく思います。

今後も、子どもたちが笑顔で安心して行事に参加できるよう、地域の方々の協力を得ながら、様々なイベントに取り組んでまいりたいと思います。引き続き皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



青少年対策嶺町地区委員会  
会長 相原 彌津枝

### ■目標

地域に在住・在学する子どもを対象に、地域内の結束力の向上及び親子間の絆を深めることを目標とし、子どもたちが楽しめるような行事を行う。

### ■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
7月30日	みねまち親子木工教室	親子50組
8月27日	子ども夏まつり	1,076人
9月30日	デイキャンプ	小学生 他101人
2月5日～11日	ぐるっと5町会！みねまちクイズラリー	511人
2月18日	委員研修会 ミニコンサート	202人
3月31日	広報誌「嶺風」25号発行	4,600部



こどもの国にて  
令和5年9月30日

## ■振り返り

令和5年度は、新型コロナウイルスの影響で行えていなかったイベントを復活させることができ、多くの子どもたちの笑顔を見ることができました。

### 【みねまち親子木工教室】

令和5年度は、4年ぶりに嶺町集会室にて開催することができました。東調布建築組合のご協力のもとペン立てを作成し、親子が力を合わせて工作に取り組みました。親子の絆を再確認できる充実のイベントとなりました。

できあがったペン立てに家で色を塗ったりして、夏休みの自由研究の作品として提出した子もいました。



### 【子ども夏まつり】

スイカ割り・ヨーヨー釣り・キャンディレイ作り・ジュニアリーダーによるお化け屋敷などの催しを行い、のべ1,000人を超える方々に参加いただきました。

参加者からは「来年も絶対参加する!」といった声があがる大盛況の1日となりました。

### 【デイキャンプ】

神奈川県にある、「こどもの国」にバスで向かい、飯ごう炊さんでのカレー作りを行いました。まきを使った火おこしなど、いろいろな経験をしました。慣れない作業に苦戦しつつも、ジュニアリーダーと力を合わせてカレーを作り、班のみんなでおいしく食べることができました。

学校や学年の枠を超えた交流を経て、「新しい友達をつくることができた」という喜びの声を聞くことができました。



## 青少年対策田園調布地区委員会

### ■会長挨拶

日頃より、青少年対策田園調布地区委員会にご理解ご協力いただき厚く御礼申し上げます。  
令和五年度より当地区委員会の会長を拝命しました齊藤一郎です。  
近年委員のみなさんのご協力により、ジュニアリーダーの人数が大幅に増えました。  
幸い、田園調布地区には、田園調布せせらぎ公園やせせらぎ館があり、今後は体育館も完成する予定となっており、活動場所には恵まれています。  
今年度におきましても、恵まれた活動環境生かしながら、様々な活動を実施していきたいと思えます。  
また、この20年間でスマートフォン等が普及し、情報の伝わり方がインターネット等のSNS中心になってきました。弊害に気をつけて利用していきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひします。



青少年対策田園調布地区委員会 会長 齊藤 一郎

### ■目標

「子どもたちのために今できることを！」

### ■年間活動報告

実施月	活動名	参加人数
5月	田園調布小学校田おこし手伝い ジュニアリーダー顔合わせ	30名
7月	広報誌「田園調布だよりNo. 40」発行	
7月	ジュニアリーダーデイキャンプ	25名
7月	田園調布小学校わくわくスクール工作教室 調布大塚小学校お楽しみスクール工作教室	105名
7月	田園調布小学校星空観測会手伝い	28名
8月	せせらぎ公園大田っ子体操手伝い	12名
9月	ジュニアリーダー宿泊研修	30名
11月	青少対まつり	約200名
12月	武隈親方講演会	80名
12月	田園調布中学校落ち葉清掃	30名
1月	バスツアー 三浦半島日帰り	87名
3月	青少年表彰式	7名

## ■振り返り/次年度に向けて

### ○ジュニアリーダー宿泊研修

まだまだ暑い9/16(土)17(日)、ゆいっつでジュニアリーダー宿泊研修をおこないました。今年度は中1リーダー申し込みが18名！人数が大幅に増えたこともあり、大田区社会教育主事の方に指導者として参加していただきました。

車座になっての話し合い、モルック大会、キャンプファイアー、飯盒炊爨でのカレー作り、うまいくこと、いかないこと、助けあいながら、お互いを知る有意義な2日間になりました。来年度は、企画の段階から、リーダーたちと組み立てていきたいです。



### ○青少対まつり

今年で2回目になる青少対まつり、11/3(金・祝)にせせらぎ公園、せせらぎ館でおこないました。遊びに来てくださった皆さま、ありがとうございました。

館内では手作りコーナー、ポッチャ体験会、公園ではウォークラリー大会、スライム作り、ビーズコーナーを開催。とてもいい天気だったのですが、三連休の初日ということもあり、来場者が少なかったように感じました。そのため、来年度は日程を検討したいと思います。



### ○バスツアー

1/21(日)、観音崎自然博物館見学、いちご狩り(津久井浜観光農園)、ピザ作り(ソレイユの丘)バス2台で三浦半島バスツアーに行ってきました。

あいにくの雨でしたが、さわれる生き物コーナーもある自然博物館を見学！

それは甘くて絶品紅ほっぺ30分食べ放題のいちご狩り！

生地をひろげてトッピング、焼きたてをほおぼるピザ手作り体験！

もりだくさんの一日を過ごしてきました。ツアー中はジュニアリーダーが班長として小学生を引率し、とても良い経験になったと思います。



## 青少年対策鶺の木地区委員会

### ■会長挨拶

四年のブランクを乗り越えて、青少年対策鶺の木地区委員会の活動が再始動いたしました。コロナ禍で活動のなかった子ども達でしたが、今年度は4年ぶりに「鶺の木地区連合運動会」や「こどもデイキャンプ」などの行事も実施することができ、地域に子ども達の笑顔が溢れました。

このように変則的ですが、徐々に以前の活動に近づきつつあります。子ども達の未来のために、引き続き皆様の御支援と御協力をいただけますよう、お願いいたします。



青少年対策鶺の木地区委員会  
会長 近藤 好秀

### ■目標

「こどもの活躍する機会をより多く提供する 鶺の木青少対」

### ■年間活動報告

月 日	行事名	月 日	行事名
5/26	理事会・総会(34名)	11/25 11/26	嶺町文化センターまつり (青少対活動パネル出展)
6/8	講演会・フラワーアレンジメント (37名)	11/26	・こどもデイキャンプ(144名) ・ジュニアリーダー・高学年会 「こどもデイキャンプ参加」
7/17	ジュニアリーダー・高学年会 「今後の計画立て」	12/14	理事会(19名)
7/22	夏休み子ども会 【東調布第三小学校】(約220名)	12/17	第145回こちら子どもクラブ 「クリスマス会」
7/29	夏休み子ども会 【千鳥小学校】(約380名)	1/21	第146回こちら子どもクラブ 「くじ引きの旅ウォークラリー」
8/13	ジュニアリーダー・高学年会 「お祭り準備・お菓子買い出し」	2/4	第147回こちら子どもクラブ 「ドミノ倒し・モルック等」
8/26 8/27	ジュニアリーダー・高学年会 「お祭り出店(こどもゲームセンター)」	2/14	新春懇親会(48名)
8/27	夏休み子ども会 【嶺町小学校】(約450名)	2/25	鶺の木地区ミニバスケットボール大会
10/15	第143回こちら子どもクラブ 「バルーン作り」	3/10	第148回こちら子どもクラブ 「表彰状授与式」
10/22	第27回鶺の木地区連合運動会(約700名)	3月	広報紙「うのき」発行
11/19	・第144回こちら子どもクラブ ・ジュニアリーダー・高学年会 「デイキャンプ予習」		

## ■振り返り

### ◎第27回鶺の木地区連合運動会

おっかけ玉入れや町会対抗競技をはじめとした10種類の競技に加え、お昼休みには東京高校チアリーディング部の演技や町会太鼓の演奏も行われました。さらに今年は、保健所が健康ブースを出展するなどたくさんの方々が参加されました。

大森第七中学校のボランティア生徒の皆さんにも活躍いただき、その熱心な働きぶりに運営スタッフの皆様も感嘆した様子でした。

町会、学校関係者、実行委員会など多くの方のご協力により、小さなお子さんから大人まで全力で楽しんで参加していたように感じました。



### ◎こどもデイキャンプ

鶺の木地区管内3小学校の児童を対象に、平和島公園でデイキャンプを行う企画です。今年度は管内の3つの小学校から95名が参加し、ジュニアリーダー、青少対委員の方々を含め、総勢144名での実施となりました。

キャンプ場では児童たちが、ジュニアリーダーや青少対の方々に教わりながら、野菜を切ったり、飯盒でお米を炊いたりするなど一生懸命カレーを作っていました。



### ◎こちらこどもクラブ

こちらこどもクラブは、ジュニアリーダーの育成を目的として、青少年対策鶺の木地区委員会が運営する地域子ども会です。対象は小学1年生から中学・高校・大学生までで、誰でも参加することができる希望加入制の会です。

青少対ジュニアリーダー育成部員とジュニアリーダー(中高生)たちの企画で、今年度はコロナの影響により年度途中から全体活動やジュニアリーダー高学年会を実施しています。



## 青少年対策久が原地区委員会

### ■会長挨拶

令和5年度は夏休み宿泊体験ツアーから活動が始まりました。特に、4年ぶりの“ふれあい久が原大運動会”の参加者がコロナ前よりも多く楽しんでもらえました。11月に新企画、“親子で味わう！秋の味覚”と題して、野外で皆さんと焼き芋や栗ご飯などを美味しくいただきました。



また、3月には大森十中でオーボエ奏者の三木サトルさんのコンサート、そして久が原の街歩きも実施いたしました。 青少年対策久が原地区委員会

会長 種田 なおみ

### ■目標

青少対事業を通して、地域の子供たちに自主性、想像力、冒険心を養わせ、また、人とのかかわりを学ぶ中で、協調心、忍耐力、他人を思いやる心を育てていく。

### ■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4 月	広報誌「けやき」発行	
4 月 30 日	大田区子どもガーデンパーティー(洗足池会場)	開催中止
5 月 18 日	理事会	16 名
5 月 26 日	総会	27 名
7 月 27 日	松仙小 夏休みワクワクスクール	33 名
7 月 24 日～ 7 月 28 日 8 月 21 日～ 8 月 22 日	夏休みラジオ体操(久原小・松仙小)	参加者多数
8 月 19 日 ～20 日	夏休み宿泊体験バスツアー	26 名
8 月 26 日	久が原児童館なつまつり	参加者多数
10 月 1 日	ふれあい久が原大運動会	1,389 名
11 月 19 日	親子で味わう！秋の味覚	37 名
3 月 8 日	三木サトルさんのオーボエコンサート	465 名
3 月 10 日	久が原いいところ見つけ隊	63 名
通年	全体会(年 10 回) 久が原地区ジュニアリーダークラブの活動 (毎月 1 回の定例会と地域行事のボランティア)	



## ■振り返り

### 夏休み宿泊体験バスツアー

新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いており、4年ぶりの開催となりました。

2日間の日程で茨城県立白浜少年自然の家に行き、キャンプファイヤーや野外でのカレー作りなどを体験し夏休みの楽しい思い出ができました。



### 親子で味わう！秋の味覚

やきいもや豚汁、栗ご飯、ホイル焼きといった秋の味覚を味わうイベントです。ホイル焼きの具材はサンマ・シャケ・鶏肉から好きなものを選び、自分だけのホイル焼きを作りました。

天気にも恵まれ、親子で楽しい時間を過ごしました。



## 青少年対策雪谷地区委員会

### ■会長挨拶

雪谷青少対は、自治会、小・中学校、PTA、民生委員、保護司などから選ばれた61名の委員で構成されております。

私たちは、子どもたちが健やかに思いやりをもって成長していけるような環境をつくるために、地区全体で力を合わせて活動しています。

今後も地域の皆様のご理解・ご協力をいただき、青少対活動を通し、雪谷地区を盛り上げていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



青少年対策雪谷地区委員会  
会長 石垣 晴子

### ■目標

「地域の活性化に向けた青少年の育成」

①子ども会づくりの推進 ②地域青少年の体力づくりの推進 ③地域環境浄化の推進

### ■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4月12日	役員会	15人
5月5日	第41回少年野球大会	70人
5月19日	総会・懇親会	55人
6月1日	雪谷青少対だより「ゆきがや」発行	2400部
6月16日	全体会	40人
8月27日 ~28日	子ども夏のつどい	36人
11月11日	研修部施設見学会	11人
11月23日	第30回サッカー大会	80人
11月29日	役員会	14人
12月13日	全体会	34人
1月26日	新年会	52人
2月2日	役員会	14人
3月13日	全体会	40人

## ■振り返り

### 【第41回少年野球大会（5月5日）】

4年ぶりの開催となる少年野球大会を開催しました。雪谷地区の野球チーム3チームが参加し、試合を行いました。

今年度は、約70名の小学生選手が参加し、お互いに交流を深めました。



### 【ゆきがや子ども夏のつどい

（8月27日～28日）】

茨城県「さしま少年自然の家」にて、ゆきがや子ども夏のつどいを開催しました。小学校3年生から6年生までの、36名が参加しました。

ジュニアリーダーによるレクリエーションやキャンプファイヤーを行いました。昼食では飯盒炊爨でカレーライスを作りました。



### 【研修部施設見学会（11月11日）】

雪谷青少対研修部主催の施設見学会が開催されました。東京臨海広域防災公園にて、防災体験学習をしました。さまざまな体験をすることができ、勉強になりました。



### 【第30回サッカー大会（11月23日）】

サッカー大会を開催しました。雪谷地区のサッカーチーム3チームが参加し、試合を行いました。当日は、約80名の選手が参加し、交流を深めました。



## 青少年対策千束地区委員会

### ■会長挨拶

青少年対策千束地区委員会は、自治会・町会などの各団体から選出された委員、青少年委員・スポーツ推進委員の、総勢 64 名で構成され、各種事業を実施しています。

長年にわたる青少対活動にご理解・ご協力をいただいている地域の皆様、関係者の皆様に感謝を申し上げ、子どもたちが健やかにたくましく育っていただける地域づくりを目指して精進して参ります。



青少年対策千束地区委員会  
会長 櫻井 汎

### ■年間活動報告

実施月	活動名	参加人数
4月	第52回千束地区春季少年野球大会	全13チーム
5月	総会 青少対会議1回目	
6月	青少対会議2回目	
7月	飯ごう炊さんとカレーづくり 青少対会議3回目 第61回調布地区少年野球大会	63名
8月	早起き子ども会 夏休み子ども映画会	341名 37名
9月	第44回千束地区秋季少年野球大会 青少対会議4回目	全14チーム
10月	自然と親しむ会 青少対会議5回目 第27回千束地区スポーツ祭り	45名 606名
11月	委員研修講演会	19名
12月	手づくり教室	30名
1月	青少対会議6回目	
2月	理事会 第36回洗足池マラソン大会	261名
3月	木工教室 広報誌『千束だより』発行	27名

### ■早起き子ども会

8月1日（火）～8月7日（月） 千束八幡神社

8月1日から7日まで、千束八幡神社にて早起き子ども会を実施しました。一週間で延べ341名が参加しました。朝の早い時間から子どもたちが参加し、八幡神社はにぎわっていました。一週間のあいだ早起きして体を動かすことで、夏休みのいいスタートを切ることができたのではないのでしょうか。



### ■自然と親しむ会

10月1日（日） 津久井浜観光農園・ソレイユの丘



4年ぶりの開催となり、45名の子どもたちが参加しました。津久井浜観光農園にて芋ほり体験を行い、大きいお芋をたくさん掘ることができました。ソレイユの丘ではピザ作りを行い、それぞれこだわってピザの盛り付けをし、美味しいピザが出来上がりました。秋の良い思い出になりました。

### ■手づくり教室

12月3日（日）千束特別出張所

今年度の手づくり教室には、30名の子どもたちが参加し、クリスマスプレートとクリスマスリース作りに挑戦しました。

プレートにきれいにペーパーを貼ったり、慣れないワイヤーの加工をしたり、大変な部分もありましたが、子どもたちは一生懸命取り組んでいました。ボランティアの中学生たちにも助けをもらいながらひとつひとつ丁寧に作ることができました。



### ■第36回洗足池マラソン大会

2月18日（日）洗足池周辺

毎年、野球協会主催で行っているマラソン大会です。

4年ぶりに全学年のレースが復活しました。

大会当日は、洗足池公園子ども広場をスタートし、学年ごとに決められた回数だけ洗足池周辺を周回します。子どもたちは一生懸命ゴールを目指していました。



## 青少年対策糶谷地区委員会

### ■会長挨拶

青少年対策糶谷地区委員会は、地域の自治会・町会、小・中学校、PTA、民生委員児童委員協議会、保護司会など各団体から選出された委員と青少年委員、スポーツ推進委員、地域リーダーによる74名の委員で構成されています。

そして、総務部、広報部、青年部、少年部の部会制をとり、委員会内に組織されているジュニアクラブ育成会とも連携して、子どもガーデンパーティー、連合運動会、子どもフェスティバルなど様々な活動を行っています。

実施した事業の一部をご紹介します。



青少年対策糶谷地区委員会  
会長 松原 敏彦

### ■年間活動報告

月	行事名	参加人数
6月	令和4・5年度青少年対策糶谷地区委員会総会	48人
6月	糶谷地区小中学校PTA懇談会	31人
6月	青少対糶谷地区だよりNo. 85	
7月	男子ソフトボール春季大会	雨のため中止
10月	第62回糶谷地区連合運動会	約1,155人
10月	第38回糶谷地区子どもフェスティバル	467人
11月	男子ソフトボール秋季大会	120人
11月	インディアカ大会	18人
12月	第44回秋季野球・ソフトボール大会	200人
12月	こどもクリスマス会	70人
1月	第6回糶谷クリーンピック	135人
1月	第44回お別れソフトボール大会	雨のため中止
1月	青少対糶谷地区だよりNo. 86	
2月	第29回お別れドッジボール大会	55人
3月	第37回連合町会杯新人戦	150人

■振り返り

◎第62回糀谷地区連合運動会  
令和5年10月1日（日）



4年ぶりの1日開催となり、新型コロナウイルス感染症流行以前と変わらぬ盛り上がりとなりました。

個人種目の他、糀谷地区10の自治会・町会で競われる町会対抗種目では日頃の練習の成果が発揮され、最後の競技までどの町会が優勝するかわからない接戦となり、声援にも熱が入りました。また、糀谷中学校の生徒による、和太鼓と軽音楽の発表もありました。

◎第38回糀谷地区子どもフェスティバル  
令和5年10月29日（日）

第38回糀谷地区子どもフェスティバルが糀谷文化センターと西糀谷さざんか公園で開催されました。当日は晴天に恵まれ、467名の子どもたちが元気に参加し、楽しい時間を過ごしました。今回で38回を迎えたこのフェスティバルは、次回以降も青少年対策糀谷地区委員会を中心に、地域の方々と連携しながら、より多くの子どもたちが楽しめる催しとして盛り上げていきます。



◎第6回糀谷クリーンピック  
令和6年1月28日（日）



糀谷クリーンピックは、糀谷地区美化推進を目指して、3～5名で1チームとし、制限時間内に定められたエリア内で拾ったごみの重さを競い合います。

当日は33チーム、135名の方が参加され、当日拾ったごみの総量はなんと、約110キログラムにもなりました。また、開催してほしいとの意見も多く寄せられました。

## 青少年対策羽田地区委員会

### ■会長挨拶

コロナ禍も一段落して、中止になっていた各種行事が戻ってきました。

青少対でも新任委員が増え、過去のことを知らない人が多くなってきました。

行事の目的・目標を再確認して、意識を持って活動出来るようにしたいと思います。



青少年対策羽田地区委員会  
会長 金田 行英

### ■目標

行事の目的・目標を再確認しよう

### ■年間活動報告

月	行事名	参加人数
8月	ANA ブルーベース&羽田クロノゲート 見学ツアー	50人
9月	花壇づくり	11人
11月	たこづくり講習会	40人
12月	委員研修懇親会	18人
12月	クリスマス会	60人
令和6年 1月	広報紙「てんくう」第42号発行	
3月	文集「羽田ののぞみ」第54号発行	





◎花壇づくり 令和5年9月30日(土)

【午前：羽田特別出張所

午後：羽田空港公園予定地】

午前中は羽田特別出張所で「花壇づくり」午後からは羽田空港公園予定地に移動し、午前中に作成した花壇に花苗・種を植えました。

花壇づくりでは、インパクトドライバーを怖がらず使いこなし、花壇の周りには素敵な絵を描いてくれました。たくさんの花が咲くことを楽しみにしています。

◎たこづくり講習会 令和5年11月12日(日)

【羽田特別出張所】

この講習会は町会・PTA 役員を対象に青少対事業部が講師となって、凧の作成手順を教えます。講習会で学んだことを各人が町会・学校に持ち帰り、今度は自身が講師となって子どもたちに「たこづくり」を教えます。今年度は天候不良のためたこあげ大会は中止となってしまいました。来年度は無事に開催されることを願っています。



◎クリスマス会 令和5年12月17日(日)

【羽田小学校】

小学1～6年生を対象に、カップケーキデコレーション・フラワーアレンジメント等が行われました。子どもたちは笑顔と真剣な表情で工作をしていました。ドキドキわくわくの楽しい時間に子どもたちの笑顔が輝いていました。



## ■振り返り

令和5年度は、羽田地区が「大田区子どもガーデンパーティー 萩中会場」の主管となり準備を進めていましたが、当日の天候不良が予想されたため、残念ながら中止となってしまいました。

4年ぶりの開催となった「たこづくり講習会」や、多くの子どもたちにご参加いただいた「クリスマス会」などは開催することができ、充実した一年となりました。

これからも伝統を大切にしながら、時には時代の変化に合わせて、子供たちに寄り添う地域団体であり続けたいと思います。

## 青少年対策六郷地区委員会

### ■会長挨拶

六郷地区では、「地域全体で子どもを育てる」をテーマに子どもたちの健全育成を目的とした様々な取り組みを行っております。

令和5年度は、コロナが5類感染症に移行され、やっと平常通りの事業を実施することができました。中止になった期間に地域を取り巻く環境も著しく変化し、各部の活動も今後を見据えたものに検討を重ねて参りました。

これからも子どもたちが笑顔で参加できる活動を目指して、青少年対策六郷地区委員会委員一同頑張ります。



会長 野村 和子

### ■目標

「みんなで見守ろう 六郷の子供たち」

### ■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
5月24日	総会	61名
6月	青少対ニュース105号	6,000部
6月18日	第1回六郷ポッチャ大会	69名
7月1日	社会を明るくする運動六郷地域集会	427名
10月8日	第35回六郷ウォークラリー大会	100名
11月26日	第2回六郷ポッチャ大会	76名
12月17日	六郷こどもまつり	168名
1月27日～ 2月14日	六郷ふれあい展覧会	23名
2月3日	第3回六郷ポッチャ大会	40名
2月11日	第41回六郷卓球大会	21名
3月	青少対ニュース106号	6,000部

青少年対策六郷地区委員会は、地区内の自治会・町会や小・中学校、PTA関係者、青少年委員、スポーツ推進委員、保護司、民生委員児童委員、青少代会長推薦委員の総数 106 名で構成されています。各事業は少年部・青年部・広報部・ジュニアリーダー部の4部に分かれて実施しています。

今年度実施した事業の中からいくつかをご紹介します。

#### ■振り返り



#### **第1・2・3回六郷ポッチャ大会【少年部】**

性別・年齢問わず楽しめるパラスポーツを通じて地域の青少年の交流及び健全育成を図ることを目的とし、今年度は3回開催しました。1年生を含んだチームが優勝するなど、初心者・経験者問わず、全員で楽しみました。

#### **第35回六郷ウォークラリー大会【青年部】**

大人から子どもまで 100 名の方が参加し、「コマ図」と呼ばれる地図を見ながら、六郷地区をまわりました。

また、各チェックポイントでは、暗号やご当地に関するクイズなどが出題され、参加者同士協力しながらゴールを目指しました。



#### **六郷ふれあい展覧会【広報部】**

六郷地区在住・在学の小学生を対象に絵を募集し、六郷地域力推進センター1階ロビーに展示しました。

「自由に絵を描いてみよう！」をテーマに、電車や動物などを描いた、計 23 作品！すべて個性あふれる素敵なものでした。

#### **六郷子どもまつり【ジュニアリーダー部】**

12月17日(日)には六郷地域力推進センターで、子どもまつりを開催しました。射的や輪投げといった、お祭りのように賑わうゲームコーナーやクリスマスに関する折り紙やカードを作るコーナーもあり、来場者 168 名全員が大いに楽しめる催しとなりました。



## 青少年対策矢口地区委員会

### ■会長挨拶

今年度は新型コロナウイルス対策が緩和され通常の活動に近い行事等を行うことが出来ました。

委員研修会ではモルック体験を行いリアルでの委員の交流。子どもガーデンパーティーは晴天のみ対応になり生憎の雨のため中止になり残念でした。子どもフェスティバルは久しぶりに矢口名物の「大型傘袋ロケット」を飛ばし子どもたちの大歓声が大空に響き渡りました。

これからも沢山の体験を通して子どもたちの笑顔あふれる活動に全力で取り組んで参ります。



青少年対策矢口地区委員会  
会長 渡邊 義太

### ■目標

子どもたちの笑顔あふれる明るく楽しい地域

### ■年間活動報告

月 日	活動名	参加人数
5月24日	委員総会	44名
6月30日	ユース瓦版第161号発行	
7月22日、23日	矢口キャンプ村	95名
8月23日	委員研修会（モルック体験会）	22名
10月2日	ユース瓦版第162号発行	
10月15日	多摩川清掃工場環境フェア協力参加	27名
11月22日	矢口子どもフェスティバル	約1,000名
12月10日	クリスマスパーティー （リーダー講習会矢口地区受講者対象）	30名
1月24日	新春地域懇親会	50名
2月25日	バスハイク	44名
3月14日	ユース瓦版163号発行	
3月24日	二十一世紀桜まつり協力参加	24名

## ■振り返り

### 矢口キャンプ村【会場】平和島公園キャンプ場、 大田区青少年交流センター

夏の恒例行事である矢口キャンプ村を実施いたしました。矢口管内の小学生（3年生～6年生）61名に参加いただきました。キャンプ場では、飯ごう炊飯、テント張り、キャンプファイヤー等、普段あまり体験できないことを体験しました。また、キャンプ場の近所にある平和島公園プールや品川水族館でもたくさんの思い出を作ることができました。

例年、子どもたちが設営したテントに宿泊しておりましたが、今回は熱中症対策として、大田区青少年交流センター（ゆいっつ）に宿泊しました。



### 矢口子どもフェスティバル【会場】多摩川小学校

当日はあいにくの雨天だったため、あらかじめ用意していた雨用プログラムでの開催となりました。校内に、ゴムでっぼう、まとあて、魚釣り、スーパーボールすくい、青空図書館、ポッチャ、モルック等、様々なコーナーを設けて実施いたしました。イベント後半は、雨がやんできたため、傘袋ロケットで遊べるように校庭を開放しました。

3時間という短い期間でしたが、多くの親子連れの方々にご来場いただき楽しんでいただきました。



### 矢口青少対バスハイク【会場】多摩六都科学館 空飛ぶいちご東京

今年は空飛ぶいちご東京でいちご狩り、多摩六都科学館でプラネタリウム鑑賞等を実施しました。矢口管内の小学生（3年生～6年生）22名に参加いただきました。いちご狩りでは、収穫重量が200gに最も近い数字で収穫できた参加者にお菓子の景品を渡しました。プラネタリウム鑑賞では、今の季節に見ることができる星座等についてメインに楽しく勉強することができました。



## 青少年対策蒲田西地区委員会

### ■会長挨拶

今年度は、「各小中学校区子どもまつり」や「かまにしふれあい運動会」、「冬の親子バスハイク」などすべての事業をコロナ禍前のように実施することができました。また、これらの事業にはジュニアリーダーたちも積極的に関わっており、我々委員も子どもたちの成長を見届けています。



今後、委員個々の向上心を喚起するとともに、子どもたちの心豊かな体験を実現するために充実した企画をし、より一層子どもたちの健全育成に努めてまいります。

青少年対策蒲田西地区委員会  
会長 角田 政春

### ■目標

か ま た の ま ち っ こ た く ま し く

### ■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
8月26日	相生小学校区子どもまつり	320人
9月3日	矢口東小学校区子どもまつり	413人
9月23日	道塚小学校区子どもまつり	238人
10月1日	矢口小学校区子どもまつり	350人
10月22日	かまにしふれあい運動会	355人
11月4～5日	OTAふれあいフェスタ	
11月25日	おなづか小学校区子どもまつり	160人
12月10日	クリスマス会	37人
1月21日	冬の親子バスハイク	84人
2月17日	相生小学校区子どもまつり	240人
2月20日	小中学校と自治会・町会長と青少対との懇親会	55人
3月15日	広報誌「根っ子47号」発行	2500部

## ■振り返り

### ★かまにしふれあい運動会

地域の方々が参加できる運動会を開催しました。  
リレーやパン食い競争など全5種目をコロナ禍前同様に実施し、  
大人も子どもも終始白熱した運動会となりました。



### ★OTA ふれあいフェスタ

蒲田西地区委員会としては両日参加し、模擬店と催し物を出店しました。  
1日目と2日目の模擬店では、コロッケやチュロス、たこ焼きを販売し、  
両日ともに大盛況の売り上げを達成しました。2日目の催し物では、  
輪投げとモルックを実施し、多くのお客さんが参加していました。



### ★冬の親子バスハイク

- 実施日 令和6年1月21日（日）
- 事業内容 いちご狩り・湯呑み絵付け体験
- 参加人数 参加者：84名

今年度の冬の親子バスハイクは、栃木県にあるJA はが野益子観光いちご団地でいちご狩りを行いました。その後、益子焼窯元共販センターにて自分たちだけのオリジナル湯呑みを作成しました。雨の中でしたが、事故もなく、楽しく終わることができました。

### ★各小学校区子どもまつり

#### ○相生小学校区子どもまつり

内容：びしょ濡れまつり（第1回）・スライム作り等（第2回）

#### ○矢口東小学校区子どもまつり

内容：子ども会

○道塚小学校区子どもまつり  
内容：スポーツフェスタ

#### ○矢口小学校区子どもまつり

内容：町会連合親子運動会

#### ○おなづか小学校区子どもまつり

内容：ミニ運動会

蒲田西地区では、管内の5つの小学校を会場に、子どもまつりを開催しています。毎年、小学校区ごとに子どもたちに楽しんでもらうために趣向を凝らした行事を企画しています。青少対委員と学校とPTAの方々が協力し合い、地域が一体となる非常に良い機会であり、子どもたちにとっても楽しみながら地域を知る場となっています。



相生小学校区子どもまつり



矢口東小学校区子どもまつり



矢口小学校区子どもまつり

## 青少年対策蒲田東地区委員会

### ■会長挨拶

今年度は委員の改選も行われ、様々な団体から選出された73名で令和5年度をスタート致しました。蒲田東地区では子どもたちとの関りを第一に地域力を活かした青少年健全育成を目的として、活動しております。

今年度は、蒲田地域リーダー講習会の主管として、前年度より委員会を立ち上げ、5月から12月までの全8回にわたり

「Let's アクション！ ～未来の地球へ～」をキャッチフレーズに、受講生は毎回SDGsのクイズに挑戦し、蒲田地域6地区の青少対の皆様方にご協力を頂き、無事に終了することができました。

蒲田東地区としては、地域講演会で「ヤングケアラー」について理解を深め、蒲田東フェスティバルも連合会や協力団体のご協力を頂き久しぶりに開催することができました。

1月には、「みんなで遊ぼう！わくわく広場」を開催し、生憎の雨バージョンでしたが、多くの親子連れの参加で、すべてのコーナーが大盛況に行う事が出来ました。

年度内には、委員研修、令和6年能登半島地震を踏まえての防災キャンプもありますが、いざという時の備えや避難生活について等を参加者と共に考え、学びたいと思っております。

今後も未来を担う子どもたちに、多くの体験の場を企画運営して提供できるよう、委員が丸となって健全育成に努めたいと思います。



青少年対策  
蒲田東地区委員会  
会長 藤井 ツヤ子

### ■年間活動報告

月 日	行事名	参加人数
4月2日	春のお楽しみ会(ジュニアリーダークラブ)	30名
7月23日	地域講演会	274名
8月26日	防災体験会(ジュニアリーダークラブ)	12名
10月28日	花火を楽しむ夕べ(ジュニアリーダークラブ)	29名
11月12日	蒲田東フェスティバル	約800名
12月10日	クリスマスを楽しむ会(ジュニアリーダークラブ)	23名
1月21日	みんなで遊ぼう！わくわく広場	約350名
2月17日	委員研修	23名
3月24日	防災キャンプ	48名
祭礼時	地域パトロール	



## ■振り返り

### ◎ 地域講演会 令和5年7月23日(日) アプリコ地下一階展示室



地域講演会では一般社団法人ケアラー連盟理事の田中悠美子先生に「ヤングケアラーについて」の講演をしていただきました。

参加いただいた方から、「初めてヤングケラーという言葉を知った。」や「言葉は知っていたけど理解を深めることができ、勉強になった。」等の感想を頂きました。

### ◎ 蒲田東フェスティバル 令和5年11月12日(日) 都立蒲田高等学校

自治会・町会、各種協力団体の皆様のご協力もあり、久しぶりに開催することが出来ました。

当日は、模擬店・展示・ステージ・eスポーツ体験・Nゲージ(鉄道模型)などのさまざまなコーナーを設け、多くの方に楽しんでいただくことが出来ました。



### ◎ みんなで遊ぼう！わくわく広場 令和6年1月21日(日) 新宿小学校 体育館



雨が降り、体育館での開催となりましたが、モルック・落書きコーナー・お菓子釣り・輪投げ・ストラックアウト・バルーンアートの各コーナーで多くの方が楽しんでいました。

鼓笛隊の演奏や、獅子舞のステージもあり、多くの方にご来場いただきました。

### ◎ ジュニアリーダークラブ

春、いちご狩り&BBQ

夏、公園の防災かまどを使用した防災体験会

秋、蒲田小学校での花火を楽しむ夕べ

冬、クリスマスを楽しむ会

など、年4回のお楽しみ会を実施し

延べ84名の方にご参加いただきました。



## (2) リーダー講習会

## 令和5年度 大田区リーダー講習会(小学生対象)

学校教育での体験が難しい社会活動や野外活動などを中心に、異年齢間の交流・協調・グループワークの楽しさを習得する場として、大森・調布・蒲田の3地域で開催しています。

開催にあたっては、大田区青少年対策地区委員会会長会に事業委託をしています。

### 1 ねらい

- (1)小学生が文化的創作活動、スポーツ・野外活動などを通して自らの興味、関心の幅を広げつつ個性を伸ばし、自ら学び自ら考えることができる「生きる力」を育む。
- (2)小学生が身近な地域において学校、学年を超えた集団活動、社会活動を体験することによってコミュニケーション能力や社会性を身につけ、集団のリーダーとしての資質を向上させる。
- (3)小学生が社会活動などを通して地域の中学・高校生リーダー、大人たちとふれあうことによって、社会参加の芽を自ら養う。
- (4)地域力の向上につながる「あいさつ運動」を活動に取り入れて、あいさつの重要性を認識させ、社会の中での人との関わり等社会性を身につける。

2 対象 区内の小学5・6年生(ただし、応募者が少ない場合は小学4年生も可)

3 定員 各地域の実情に応じて設定

4 受講者数 177名〔大森〕80名〔調布〕43名〔蒲田〕54名

5 修了者数 173名〔大森〕77名〔調布〕42名〔蒲田〕54名

### 《各地域のプログラム内容》

#### ◆大森地域

回	開催日時	会場	内容	受講者数
1	6月4日(日) 10:00~15:00	大田文化の森	開講式 アイスブレイク オリエンテーション	73名
2	7月2日(日) 10:00~15:00	青少年交流センターゆいっつ	モルック	61名
3	7月23日(日) 10:00~16:00	大森東小学校	キンボール レクリエーション	62名
4	8月19日(土) 10:00~	青少年交流センターゆいっつ	スポーツ鬼ごっこ 盆踊り	65名
5	8月20日(日) ~15:00	青少年交流センターゆいっつ	車いすバスケ けん玉	65名
6	10月1日(日) 10:00~15:00	平和島公園キャンプ場 青少年交流センターゆいっつ	クッキング レクリエーション	67名
7	11月12日(日) 10:00~15:00	馬込中学校	乗馬体験 ポニーセラピー レクリエーション	58名
8	12月3日(日) 10:00~12:30	大田文化の森	閉講式	60名

## ◆調布地域

回	開催日時	会場	内容	受講者数
1	6月11日(日) 9:30~15:00	嶺町文化センター	開講式・Tシャツ作り	37名
2	7月9日(日) 9:30~15:00	嶺町文化センター	ロープワーク	34名
3	8月5日(土) 9:00~	青少年交流センターゆいっつ	宿泊講習	35名
4	8月6日(日) ~17:00	青少年交流センターゆいっつ	宿泊講習	35名
5	9月10日(日) 9:00~15:00	日本科学未来館	施設見学	29名
6	10月22日(日) 9:30~15:00	嶺町文化センター	リトルフェスタ	28名
7	11月12日(日) 9:00~15:00	ソレイユの丘	ウォークラリー	30名
8	12月10日(日) 9:30~15:00	嶺町文化センター	閉講式・お楽しみ会	34名

## ◆蒲田地域

回	開催日時	会場	内容	受講者数
1	5月21日(日) 10:00~15:00	新宿小学校	開講式・班作り	53名
2	6月25日(日) 10:00~15:00	大田区総合体育館	パラスポーツ体験 車いすラグビー おも活	50名
3	7月30日(日) 7:40~18:30	首都圏外郭放水路 本所防災館	社会見学 防災地下神殿 本所防災館	50名
4	8月20日(日) 9:30~15:00	大田区議会本会議場 消費者生活センター	議会見学 科学実験	47名
5	9月24日(日) 8:15~17:00	宮ヶ瀬ダム・水とエネルギー館 神奈川県立あいかわ公園	社会見学 宮ヶ瀬ダム・水とエネルギー館 神奈川県立あいかわ公園	47名
6	10月22日(日) 10:00~15:00	大田区民ホールアプリコ おおた国際交流センター	ウォークラリー	35名
7	11月19日(日) 9:30~16:00	蒲田小学校 東京誠心調理師専門学校	調理実習 フードロス講話	41名
8	12月3日(日) 10:00~15:00	蒲田小学校	閉講式・全講習会振り返り	47名

## 令和5年度 大田区リーダー講習会（中高生対象）

【通称：ティーンズパワーあっぷセミナー】

地域活動における青少年リーダーの育成を図るため、中学・高校生を対象に、地域活動で必要なリーダーシップや指導技術を身につけることを目的に開催しています。

◎受講者数 13名（中学生 6名／高校生 7名）

回	開催日時	内容	会場
1	7月23日（日） 10:00～15:00	開講式 アイスブレイク	ふれあいはずめま
2	8月3日（木） 10:00～15:00	レクダンス	大田区青少年交流センターゆいっつ
3	8月7日（月） 10:00～15:00	グループレク シンキングゲーム	大森スポーツセンター
4	8月11日（金・祝） 10:00～15:00	受講生企画	大田区青少年交流センターゆいっつ
5	8月17日（木） 10:00～15:00	水遊び 疑似キャンドルファイヤー	平和島公園キャンプ場 大田区青少年交流センターゆいっつ
6	9月3日（日） 10:00～15:00	レクリエーション 閉講式	大田区青少年交流センターゆいっつ

### 【講習会の様子】



## 令和5年度 大田区リーダー講習会（成人対象）

「青少年に寄り添う大人のためのイベント・行事の風水害対策講座」（講師：渡辺 直史氏）

青少年を対象としたイベントなどの主催者が地域行事を企画・運営するにあたり、子どもたちを風水害から未然に守る方法について、防災プログラムなどを通じて学びました。

◎受講者数 5名

開催日時	内容	会場
令和5年8月27日（日） 10：00～15：00	<p>【午前】</p> <p>防災の基礎知識、大田区の風水害の特徴、イベント開催日や場所の検討方法等イベントを開催する上で必要となる知識を身に付けました。</p> <p>【午後】</p> <p>防災情報の収集と活用方法について学び、マイ・タイムラインを作成しました。</p>	消費者生活センター 第5集会室



「発達障がい寄り添った、子どもの体験の場づくり」（講師：水村 賢治氏）

発達障がいについて理解を深めるとともに、発達障がいのある子どもも参加しやすい体験の場づくりについて考えました。

◎受講者数 11名

開催日時	内容	会場
令和5年10月22日（日） 10：00～15：00	<p>【午前】</p> <p>発達障がいの基礎知識について学びました。</p> <p>【午後】</p> <p>現場からの事例報告や事例紹介に加え、体験を通して発達障がいについて理解を深めました。</p>	消費者生活センター 第6集会室



### **(3) 青少年表彰式**

## 大田区青少年表彰式

大田区では、青少年又は青少年団体が日頃行っている活動をたたえ、活動の一層の普及と活動意欲の高揚を目指し、青少年表彰を実施しています。

令和5年度は、個人66名、団体11団体が表彰されました。

「令和5年度大田区青少年表彰式～はばたけ!!未来へ～」

- 1 日時 令和6年3月3日（日）
- 2 会場 大田区産業プラザPiO コンベンションホール
- 3 内容 ◆区長挨拶  
◆議長挨拶  
◆表彰状授与  
◆受賞者代表スピーチ（鵜の木地区ジュニアリーダー 尾高 雪乃）

《被表彰者数》

部 門	個人	団体
模範青少年部門	34	1
スポーツ及び文化部門	32	10
合 計	<b>66 名</b>	<b>11 団体</b>



## 令和5年度 大田区青少年表彰 被表彰者名簿

### ◇模範青少年部門(個人表彰)

氏名	表彰行為
な たに あきら 那谷 晃	田園調布地区ジュニアリーダーとして活躍 地域活動に積極的に参加し、子どもたちの指導に当たっている。
おだか あやの 尾高 彩乃	鶉の木地区ジュニアリーダーとして活躍 地域活動に積極的に参加し、子どもたちの指導に当たっている。
おだか ゆきの 尾高 雪乃	
とさか よしふみ 登坂 嘉文	
まくち たいせい 菊地 泰清	
おかやま りん 岡山 凜	久が原地区ジュニアリーダーとして活躍 地域活動に積極的に参加し、子どもたちの指導に当たっている。
いわくら まさと 岩倉 理人	
やまだ み ゆう 山田 心結	
かわもと ゆう 河本 悠	
いとう そうま 伊藤 颯真	矢口地区ジュニアリーダーとして活躍 地域活動に積極的に参加し、子どもたちの指導に当たっている。
おおばやし りゅうせい 大林 龍生	蒲田西地区ジュニアリーダーとして活躍 地域活動に積極的に参加し、子どもたちの指導に当たっている。
うちうみ さや 内海 咲郁	
とよた ゆうな 豊田 夕夏	
くわつる りょうたろう 桑鶴 良太郎	大森交通少年団として活躍 交通安全について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
くわつる りょうのすけ 桑鶴 良之助	
にしむら ちか 西村 知佳	
たかはし ゆい 高橋 結衣	
すずき ここ 鈴木 湖々	田園調布交通少年団として活躍 交通安全について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
たかぎ ひより 高木 陽依	
にしむら ここ 西村 心琴	

氏名	表彰行為
かわて こうき 川手 剛輝	大森消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
むとう そうや 武藤 聡也	大森消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
わかお ゆうき 若尾 優希	大森消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
かいとう たくみ 皆藤 匠	田園調布消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
さいとう みう 齋藤 美海	田園調布消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
じんぼ るな 神保 瑠那	田園調布消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
あた ゆきの 阿多 幸乃	田園調布消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
かわせ きな 川瀬 紗那	矢口消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
たかはし ななえ 高橋 七恵	矢口消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
ほそや みづき 細谷 瑞月	矢口消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
たかせ ともひと 高瀬 智仁	矢口消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
さかもと いちか 坂本 一珂	蒲田消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。
さいぐさ りゅう 三枝 龍	蒲田消防少年団として活躍 防火・防災について、地域への普及啓発活動を積極的に行っている。

### ◇模範青少年部門(団体表彰)

団体名	表彰行為
東京都立つばさ総合高等学校 福祉部	ハギレを活用した手作りティッシュカバーを被災地や福祉施設へ送る活動

### ◇スポーツ及び文化部門(個人表彰)

スポーツ

氏名	表彰行為
きた しょうたろう 北 翔太郎	2023国際親善エリート空手道選手権大会 極真空手 第3位
はせべ りゅうめい 長谷部 龍明	第14回東京都高体連登山専門部スポーツライミング大会 リード優勝
かいほり しょうご 海堀 翔伍	第78回特別国民体育大会柔道競技 少年男子 優勝
おか こうきち 岡 倅吉	2023JBMXF大東建託シリーズ岡山大会BMX (自転車競技) 第3位

氏名	表彰行為
うえの 上野 りくと 陸斗	令和5年度東京都高等学校総合体育大会体操競技大会 個人総合優勝
いまむら 今村 けんたろう 健太郎	第39回全国高等学校体操競技選抜大会 種目別 つり輪 第2位
みやもと 宮本 りのあ 里乃亜	第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 女子走幅跳び 第3位
おざわ 小沢 かづき 嘉月	令和5年度関東高等学校陸上競技大会 男子100m 第2位
こが 古賀 ジェレミー	第78回特別国民体育大会陸上競技 少年男子B110mJH 優勝
おおたけ 大竹 りみこ 莉美子	第76回東京都高等学校陸上競技対校選手権大会 女子円盤投 優勝
やすくに 安國 ゆい 唯	第76回東京都高等学校陸上競技対校選手権大会 女子ハンマー投 優勝
くわはら 桑原 きょうた 響太	第40回全日本武術太極拳選手権大会 男子ジュニア太極拳2の部 第3位
ときとう 時任 こころ 心	第70回関東高等学校剣道大会 女子団体 準優勝
やまぐち 山口 まい 真依	第53回全国中学校剣道大会 女子団体 第3位
たまき 玉木 あや 亜弥	2023年世界ジュニアバドミントン選手権大会 女子ダブルス 優勝
おちあい 落合 すいと 翠土	第47回関東中学校水泳競技大会 100mバタフライ 第2位
いまい 今井 あやた 絢太	第40回全国少年少女レスリング選手権大会 小学生の部6年生46Kg級 優勝
いまい 今井 その 園乃	第40回全国少年少女レスリング選手権大会 女子の部4年生33Kg級 優勝
あんざい 安西 あいる 愛琉	2023国際親善空手道選手権大会 組手 10歳女子-35Kg級 優勝
むらおか 村岡 ゆま 結愛	World Jump Rope Championships 2023 Double Dutch Speed4×30 優勝
なかせ 中瀬 ちかこ 智佳子	ジュニアフラッグフットボールインターナショナルカップ2023 女子U15 第2位
さとう 佐藤 まひろ	第1回アジアU16女子バレーボール選手権大会 優勝
いとう 伊藤 ここも 心萌	第6回NBA横浜バレエコンクール 中学2年の部第2位
いまむら 今村 よしかつ 好克	第54回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会（関東地区決勝戦）第2位
いまむら 今村 まさかつ 真克	第54回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会（関東地区決勝戦）第2位

氏名	表彰行為
たちかわ こうき 太刀川 幸輝	第105回全国高等学校野球選手権大会 ベスト4
なかむら あこ 中村 あこ	第47回関東地区空手道選手権大会 小学生2年女子組手の部 第3位

## 文化

氏名	表彰行為
よこて ゆうき 横手 悠生	第44回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会 小学生の部 優勝
いわさき なつこ 岩崎 夏子	第14回小学生駒姫名人戦 優勝
もりき のぞみ 森木 希光	第32回国際高校生選抜書展 秀作賞
おおぬま ひなた 大沼 日菜詩	第39回読売書法展 入選

## ◇スポーツ及び文化部門(団体表彰)

### スポーツ

団体名	表彰行為
日本体育大学荏原高等学校 ライフセービング部	全日本ユースライフセービング選手権2022 優勝
日本体育大学荏原高等学校柔道部	第95回金鷲旗高校柔道大会 第3位
東京高等学校女子硬式テニス部	第43回関東選抜高校テニス大会 女子 準優勝
リトルスターズスポーツ少年団	第42回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 ミニバスケットボールの部 優勝
大田ガールズ	第40回関東小学生女子ソフトボール大会 優勝
大田区立出雲中学校 バレーボール部	第7回東京都ビーチバレー中学生大会 優勝
開桜MBC	令和5年度東京都スポーツ少年団大会 ミニバスケットボール競技女子の部 優勝
K☆bracing	第58回バトントワーリング関東大会 一般部門 U-12の部 (バトン編成) 金賞 (全国大会出場推薦)
チェリーズバトンクラブ	第58回バトントワーリング関東大会 一般部門 U-15の部 (バトン編成) 金賞 (全国大会出場推薦)
雪谷バトンクラブジュニアチーム	第58回バトントワーリング関東大会 一般部門 U-18の部 (バトン編成) 金賞 (全国大会出場推薦)

※本名簿には、令和5年度大田区青少年表彰被表彰者及び団体のうち、大田区ホームページへの掲載について同意を頂いた被表彰者名及び団体名のみ掲載しています。

## **2 その他の事業報告**

### **(1) 青少年問題協議会**

## 青少年問題協議会

大田区青少年問題協議会とは、大田区における青少年問題に関する総合政策の樹立につき必要な事項を調査審議し、その実施に必要な関係行政機関に対し、意見を具申することを運営の基本としています。

令和5年度は、「次期大田区子ども・若者計画策定に向けた方向性の整理について～子ども・若者と地域を結ぶ、支援体制整備を目指して～」をテーマに、青少年問題協議会を構成する委員の方々から意見をいただきました。

なお、大田区青少年問題協議会での議論の概要は以下のとおりです。

### 【令和5年度の年間テーマ】

「次期大田区子ども・若者計画策定に向けた方向性の整理について  
～子ども・若者と地域を結ぶ、支援体制整備を目指して～」

#### 第1回

日 時	令和5年7月7日（金） 午後2時～午後3時30分
概 要	①少年非行の概況について ②令和4年度青少年問題協議会の実績報告について ③子ども・若者計画の令和4年度実績報告及び本計画の推進について ④子ども・若者総合相談センターの進捗について ⑤年間テーマに対する意見交換

#### 第2回

日 時	令和5年10月30日（月） 午後3時～午後4時30分
概 要	①令和5年度 第1回青少年問題協議会の議事概要及び審議内容における現行大田区子ども・若者計画の確認について ②年間テーマに対する意見交換

#### 第3回

日 時	令和6年2月2日（金） 午後1時～午後2時30分
概 要	①年間テーマに対する意見交換 ②講演 テーマ「転換期の子育て環境～新たな共同性をめざして」 講師 大田区青少年問題協議会座長 前東京成徳大学教授 永井 聖二氏

## **(2) 青少年対策地区委員研修**

## 青少年対策地区委員研修会

青少年健全育成事業に関する新たな知識やノウハウを学ぶとともに、各地区委員会間の情報交換を行い地区委員会活動の活性化を図るため、研修を実施しました。

東京都事業を活用し、講演や発達障がいの特性を疑似体験できる VR 体験により、発達障がいやその傾向のあるこどもの特性を理解し、適切な環境づくりやコミュニケーションの取り方などを学びました。また講師への質疑応答では活発な意見交換が行われ、地区委員会活動におけるこどもたちとの関わり方などを考えるきっかけとなりました。

- 【日 時】 令和5年7月8日（土）10時～12時  
【会 場】 池上会館 集会室  
【参加者】 73名  
【内 容】 講演：『発達障がいを持つ子どもたちとの関わり方』  
講師：原 哲也 氏  
（言語聴覚士・社会福祉士・  
一般社団法人 WAKUWAKU PROJECT JAPAN 代表理事・  
東京都事業「青少年応援プロジェクト@大田区」講師）

## 青少年対策地区委員会 会長・副会長宿泊研修

青少年対策地区委員会の会長・副会長を対象に、青少年健全育成事業の参考となる事例及び施設の見学や、各地区委員会間の交流・情報交換を行うことにより、地区委員会活動がより充実したものになるよう、宿泊研修を実施しました。見学先の「盲導犬の里富士ハーネス」では、盲導犬の一生をトータル的にケアする施設を見学し、盲導犬への理解を深めることができました。

- 【実施日】 令和5年11月25日（土）～26日（日）  
【見学先】 盲導犬の里 富士ハーネス  
真鶴半島自然公園  
生命の星・地球博物館  
【宿泊先】 ゆがわら 水の香里  
【参加者】 31名





### **(3) 青少年を取り巻く環境の整備**

## 「東京都青少年健全育成協力員」制度

この制度は、東京都青少年の健全な育成に関する条例に基づき、書店、コンビニエンスストア、ビデオ・DVDソフト店等の販売店・レンタル店等で指定図書類や表示図書類の包装、区分陳列がより適正に行われているかを調査し、その結果を東京都に報告するもので平成16年度より始めました。

大田区では、区内18地区の青少年対策地区委員の方に協力員になっていただき、区内のコンビニエンスストア等を訪問し、指定図書類の有無等を確認していただいています。

協力員の地道な活動により、書店・コンビニ店等での区分陳列に対する意識が高まってきていますが、今後も活動を継続していくことが求められています。

また、協力員による調査により特に問題があると考えられる販売店等には、都の職員が重点的に再度調査し、注意・指導を行っています。

## 秋のこどもまんなか月間

こども家庭庁ではこどもや子育て世帯を社会全体で考える機運をさらに醸成すべく、11月を「秋のこどもまんなか月間」とし、その取り組みのひとつである「子供・若者育成支援推進強調月間」では、子供・若者育成支援に関する国民運動の一層の充実や定着を図ることを目的として、関係省庁、地方公共団体及び関係団体とともに諸事業、諸活動を集中的に実施しています。

大田区では、この強調月間中に、青少年対策地区委員が中心となり、コンビニエンスストア、書籍販売店、DVDレンタル店等に対する販売・貸出自粛要請活動を訪問により行っています。

## 大田区青少年対策地区委員会だより

令和5年度（第80号）

発行日 令和6年4月発行

発行者 大田区地域力推進部地域力推進課青少年担当

住 所 大田区蒲田五丁目13番14号

電 話 03（5744）1223